

建災防宮城県支部からのお知らせ

令和3年3月1日

3月は建設業年度末労働災害防止強調月間！

年度末は、繁忙度が増すことなどから、労働災害防止を図るうえで、特別な配慮が求められます。作業の輻輳への統括管理の強化や、過労が起因となる事故や健康障害に御配慮ください。**実施要綱は先月の会報に同封しています。**

新型コロナウイルス感染症への感染予防及び健康管理について 宮城労働局より

厚生労働省では、新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図るため、事業場において特に留意すべき「5つのポイント」を示し、各事業場における取り組みの確認をお願いしています。

また、各労働局に「職場における新型コロナウイルス感染拡大防止相談コーナー」を設置しておりますので、ご利用ください。

実施できて いれば☑	取組の5つのポイント
<input type="checkbox"/>	テレワーク・時差出勤等を推進しています。
<input type="checkbox"/>	体調がすぐれない人が気兼ねなく休めるルールを定め、実行できる雰囲気を作っています。
<input type="checkbox"/>	職員間の距離確保、定期的な換気、仕切り、マスク徹底など、密にならない工夫を行っています。
<input type="checkbox"/>	休憩所、更衣室などの“場の切り替わり”や、飲食の場など「感染リスクが高まる『5つの場面』」での対策・呼びかけを行っています。
<input type="checkbox"/>	手洗いや手指消毒、咳エチケット、複数人が触る箇所の消毒など、感染防止のための基本的な対策を行っています。

職場における 新型コロナウイルス 感染拡大防止対策 相談コーナー

宮城労働局
健康安全課内

電話 022-299-8839

詳細は厚生労働省 HP を
参照してください。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で注意力が低下する。また、聴覚が鈍感し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用は感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、例えば深夜のほろ酔いでは、昼間の通常の食事と比べて、感染リスクが高まる。
- また大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話することで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、量力ラオケや野外のバーベキューでの事例が確認されている。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用施設での事例が確認されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まる可能性がある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での事例が確認されている。車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



宮城県内労働災害（建設業関係）の発生状況（令和2年12月末（速報値））

宮城労働局発表より

業種	平成30年 全期		令和元年 全期		令和元(平成31)年 12月末		令和2年 12月末		前年同月比較			
	死傷	死亡	死傷	死亡	死傷	死亡	死傷	死亡	死傷		死亡	
									増減数	増減率 %	増減数	増減率 %
全産業計	2589	23	2432	17	2182	17	2165	13	-17	-0.8	-4	-23.5
建設業	336	7	352	7	332	7	270	3	-62	-18.7	-4	-57.1
土木工事業	123	2	111	4	104	4	87	1	-17	-16.3	-3	-75.0
建築工事業	156	3	191	3	179	3	151	2	-28	-15.6	-1	-33.3
鉄骨・コンクリート造 家屋建築工事業	43	2	48	1	44	1	44	2			1	+100.0
木造家屋建築工事業	54		80	2	79	2	57		-22	-27.8	-2	-100.0
建築設備工事業	18	1	19		19		18		-1	-5.3		
その他の建築工事業	41		44		37		32		-5	+13.5		
その他の建設工事	57	2	50		49		32		-17	-34.7		

災害件数は令和2年12月末までに報告のあった労働者死傷病報告(休業4日以上)により計上しています。死亡件数は内数となっています。
令和2年の労働災害発生状況の確定値は3月末までの報告にて確定される予定です。

安全衛生図書・用品の頒布価格改定のご案内

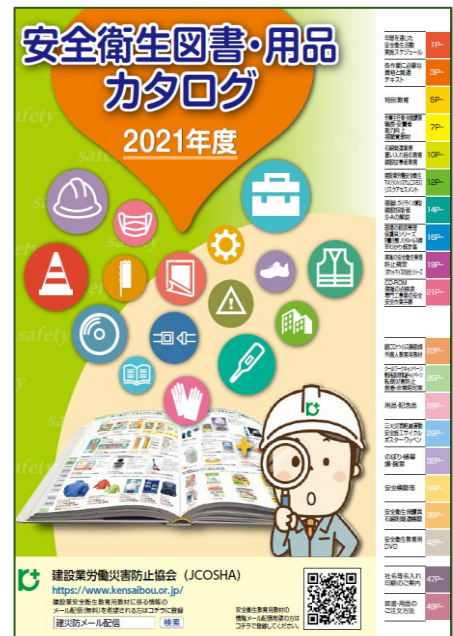
【建災防会員様購入の場合は据え置き】

建災防本部からのお知らせ

建災防では、安全衛生図書・用品価格について、近年の人件費、原材料費及び物流費等の高騰によるコスト上昇にともない、4月1日以降の建災防本部の発送分から、止むを得ず頒布価格を改定させていただくこととなりました。(改定額等は安全衛生図書・用品カタログをご覧ください。本カタログは、今月の会報送付時に同封しています。)

皆様には、ご負担とご迷惑をおかけいたしますが、今後より一層のサービス向上に努めて参る所存でございますので、今後とも変わらぬご愛顧をいただきますよう、何卒、ご理解をよろしくお願い申し上げます。

なお、会員（個別及び団体会員）の皆様への頒布価格につきましては、今回は、変更することなく維持してまいります。



ホームページ

建設業労働災害防止協会 宮城県支部

〒980-0824 仙台市青葉区支倉町2-48 宮城県建設産業会館5階

電話 022-224-1797 Fax 022-265-5604